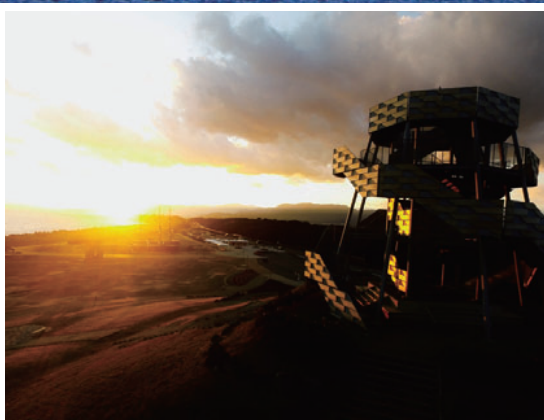


PORTS OF SHIZUOKA

世界とつながる
暮らしを支える
静岡県の港湾



はじめに

静岡県は、日本のほぼ中央に位置し、我が国の宝である世界遺産の富士山を背に、ユネスコ世界ジオパークに認定された伊豆半島、最大深度約2,500mと国内では最も深い駿河湾、アカウミガメの産卵地として有名な砂浜や砂丘をもつ遠州灘など、変化に富んだ約519kmにも及ぶ長い水際線を有しています。その地形を利用し、海との強い繋がりをもって発展してきた我が県では、甲州や信州の海の玄関口として港勢を拡大してきた「清水湊」をはじめ、人々の努力により、古くから各地に多くの良港が築きあげられました。

現在は、国際拠点港湾の「清水港」、重要港湾の「田子の浦港」「御前崎港」に加え、12の地方港湾があり、それぞれが海と陸の結節点という港の特性を生かし、産業の発展や県民生活の向上に寄与する場となっています。

今後は、新東名高速道路や圏央道の延伸、さらには中部横断自動車道全線開通などにより、本県の背後圏が飛躍的に拡大し交通アクセスが向上することから、これまで以上の港湾利用が期待されています。

さらに、平成28年11月に駿河湾は「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟しました。本加盟により、駿河湾の魅力の世界に向けた情報発信の強化、情報の広がりによる交流人口の拡大、世界的な知名度向上によるクルーズ船誘致回数増加等の効果も見込まれます。

また、世界的に脱炭素化の動きがある中で、海外との接点である港湾を新たなエネルギー転換に対応させ、その機能を高度化させられるかどうかカーボンニュートラル社会実現の鍵となっていることから、県内港湾もその実現に貢献できるよう取り組んでまいります。

一方近年は、船舶の大型化、クルーズ市場の拡大による訪日外国人観光客の増加、年々激しさを増す自然災害や新たな感染症などへの対応といった今までにないニーズが生まれています。物流機能の再編や新たな交流空間の創出により、本県のヒト・モノが行き交う要衝としての持続ある発展を支えるとともに、防潮堤などのハード整備やBCP（事業継続計画）策定などのソフト対策により災害に対処し、十分な感染症対策を講じることで緊急時でも機能するみなとづくりを目指してまいります。

本県は、恵まれた地理的ポテンシャルを活かし、港湾を取り巻く時代の潮流を確実に捉えながら、本県港湾が「新しい時代にふさわしい日本の玄関」となるよう努めてまいります。

この冊子が、静岡県の港湾行政を御理解いただく一助となれば幸いです。

静岡県交通基盤部港湾局

目次

世界とつながる静岡県の港湾	4
静岡県の港湾位置図	6
ものづくり県・しずおかの姿	8
清水港	10
田子の浦港	14
御前崎港	16
熱海港	18
伊東港	19
下田港	20
手石港	21
松崎港	22
宇久須港	23
土肥港	24
沼津港	25
大井川港	26
榛原港	27
相良港	28
浜名港	29
静岡県交通基盤部の社会資本整備の 取組・港湾の重点施策	30
港湾及び海岸の整備のしくみ	37
港湾マメ知識	38
連絡先	39



世界とつながる静岡県の港湾



日本の主要港湾

●国際戦略港湾

国際海上貨物輸送網の拠点となり、かつ、当該国際海上貨物輸送網と国内海上貨物輸送網とを結節する機能が高い港湾

●国際拠点港湾

国際戦略港湾以外の国際海上貨物輸送網の拠点となる港湾
(本県では清水港のみ)

●重要港湾

国際戦略港湾、国際拠点港湾以外の海上輸送網の拠点となる港湾
(本県では田子の浦港及び御前崎港の2港)



静岡県の港湾位置図

<港湾>







種別	港数	管理者別	
		県	市
国際拠点港湾 	1	1	—
重要港湾 	2	2	—
地方港湾 	12	11	1

港湾区域

<漁港>

種別	港数	管理者別	
		県	市町
第1種漁港 その利用範囲が地元の漁業を主とするもの	○ 33	—	33
第2種漁港(特定含む) その利用範囲が第1種漁港より広く、第3種漁港に属しないもの	◎ 9	3	6
第3種漁港 その利用範囲が全国的なもの	● 4	3	1
第4種漁港 離島その他辺地において漁場の開発又は漁船の避難上特に必要なもの	● 2	2	—

<高規格・地域規格幹線道路>

供用区間	
事業化区間	
予定路線区間	
<一般道路>	
国道	
<鉄道>	
東海道新幹線	
東海道本線	



静岡県の概況

方位	経緯度	
東端：熱海市初島東端	東経	139度10分
西端：湖西市西端	東経	137度28分
南端：下田市神子元島南端	北緯	34度34分
北端：静岡市葵区田代間ノ岳北端	北緯	35度38分

資料：国土地理院地図資料課

市町数：35(市：23 町：12)

県総面積：7,777.35km²(推計) 資料：全国都道府県市町村別面積調
令和2年7月

県総人口：3,613,788人(推計) 資料：静岡県人口推計
令和3年1月

海岸線延長：518,312m 資料：海岸統計(令和元年度版)



山梨県

神奈川県

相模湾



外貿定期コンテナ船航路(主要航路)

欧州・北米	(1航路)
北米西岸	(1航路)
東南アジア	(10航路)
中国・韓国	(12航路)
極東ロシア	(1航路)

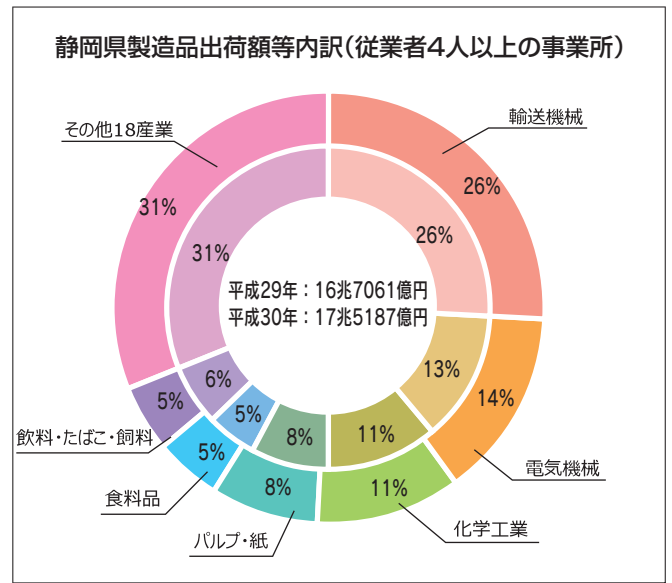
外貿定期コンテナ船航路

東南アジア	(1航路)
-------	-------

下田-神津島-式根島-新島-利島航路
至神津島

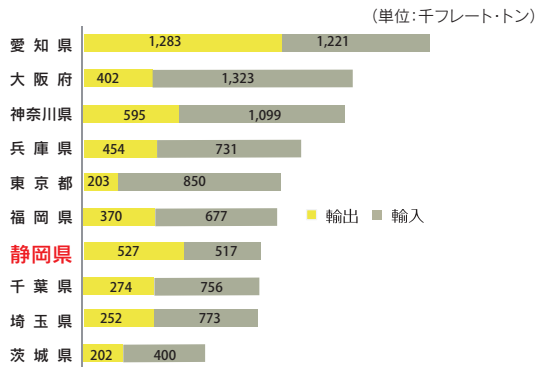
ものづくり県・しずおかの姿

- 1 **人口：370万人（全国比2.9%）**
全国第10位（平成27年10月「国勢調査」）
- 2 **一人当たりの県民所得：339万円**
全国第4位（内閣府「県民経済計算（平成29年度）」）
- 3 **名目県内総生産（名目GDP）：17兆2774億円**
全国第10位（内閣府「県民経済計算（平成29年度）」）
※四国4県、南九州3県（熊本、宮崎、鹿児島）を上回る
- 4 **製造品出荷額：17兆5千億円（全国比5.3%）**
全国第4位（2019年工業統計速報、従業者4人以上の事業所）
- 5 **事業所数：8,988事業所（全国比4.9%）**
全国第5位（2019年工業統計速報、従業者4人以上の事業所）
- 6 **従業者数：41.3万人（全国比5.3%）**
全国第3位（2019年工業統計速報、従業者4人以上の事業所）
- 7 **製造業等の企業立地件数：76件、全国1位**
製造業等の企業立地面積：94ha、全国2位
（2019年「工業立地動向調査」速報）
- 8 **訪日外国人の延べ宿泊者数：2,494万人（全国比2.2%）**
全国第10位（宿泊旅行統計調査（平成31年1月～令和元年12月））
- 9 **訪日外国人の訪問率：4.8%**
全国第13位（2019年訪日外国人消費動向調査）



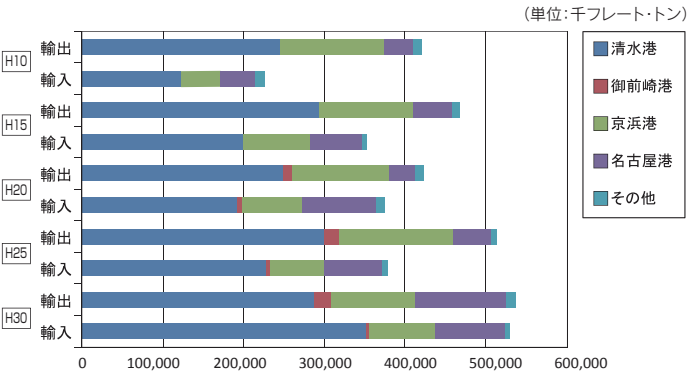
10 生産・消費コンテナ貨物（平成30年度全国輸出入コンテナ貨物流動調査より）

(1) 県内生産・消費コンテナ貨物量（1か月）



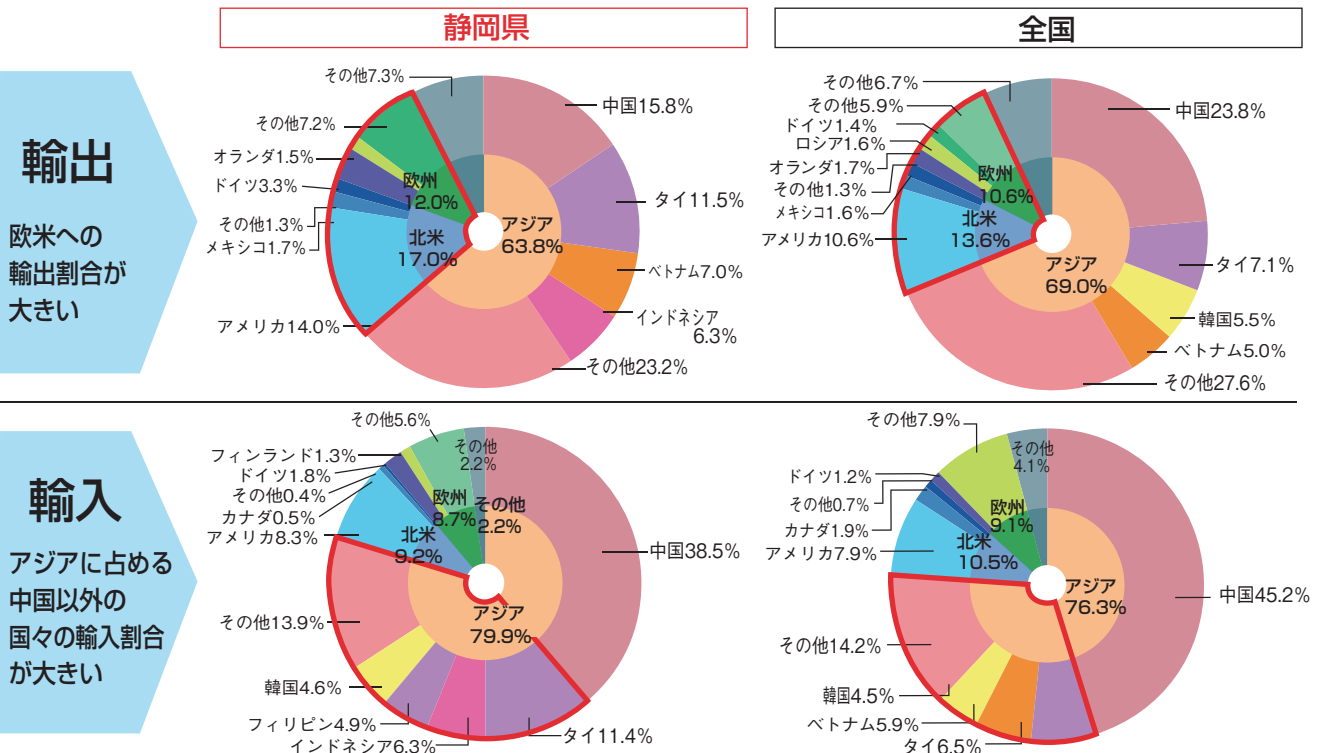
県内で生産・消費されるコンテナ貨物量は
全国第7位（輸出3位、輸入9位）

(2) 県内生産・消費コンテナ貨物の利用港（1か月）

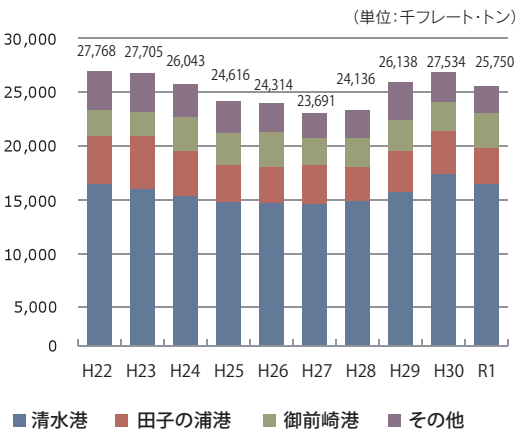


県内港湾を使用し輸出入が行われる貨物は
輸出で約72%、輸入で約58%

(3) 生産・消費コンテナ貨物量の仕向国・仕出国別割合



(1) 県内港湾取扱貨物量の推移



(2) 令和元年港湾別取扱取扱量

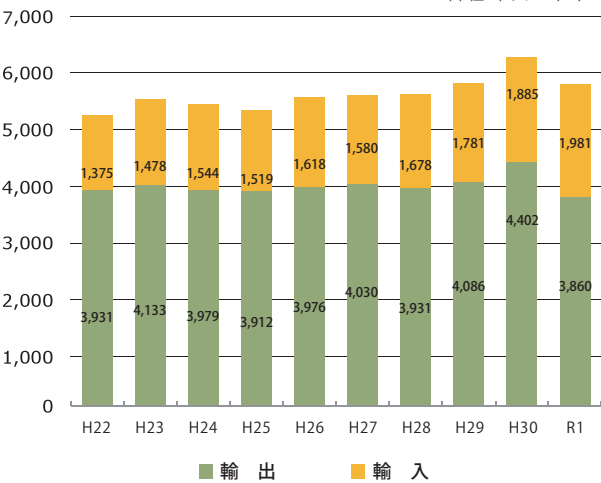
(単位:千フレート・トン・隻・千人)

港名	港格	取扱量	入港船舶	主要品目	旅客(千人)
清水	国際拠点	16,862	8,625	LNG、その他輸送機械、自動車部品、紙・パルプ、化学薬品	232
田子の浦	重要	3,297	1,653	石炭、セメント、鋼材、とうもろこし、その他の石油、紙・パルプ	-
御前崎	重要	2,861	3,167	完成自動車、自動車部品、その他輸送機械	-
熱海	地方	3	4,028	窯業品、産業機械	600
伊東	地方	54	2,784	砂利・砂、水産品、その他食料工業品、LPG	8
下田	地方	67	1,934	砂利・砂、染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品、石灰石	8
手石	地方	-	2,835	-	-
松崎	地方	65	49	砂利・砂	-
宇久須	地方	191	109	石材、砂利・砂、廃土砂	-
土肥	地方	356	1,604	水産品、フェリー	139
沼津	地方	261	1,629	-	17
榛原	地方	-	-	-	-
相良	地方	-	3,740	-	-
浜名	地方	1	6,685	水産品	-
大井川	地方	1,731	3,663	その他の石油、LPG、セメント、重油	-
計		25,749	42,505		1,004

(フェリーで運送する車両をフレート・トン※1換算したものを含む)

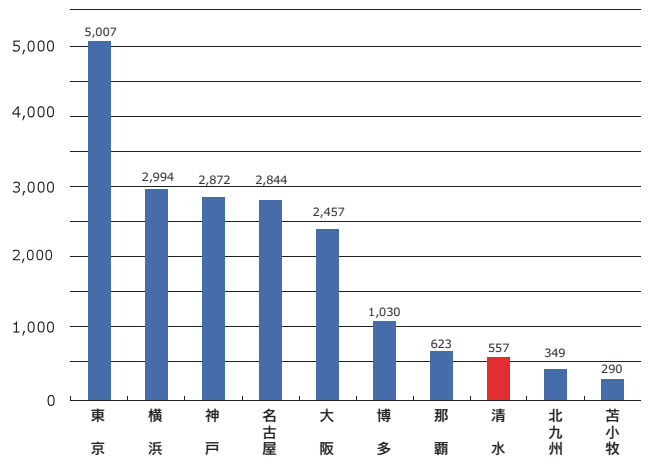
(3) 外貿コンテナ貨物量の推移

※取扱は清水港、御前崎港のみ
(単位:千フレート・トン)



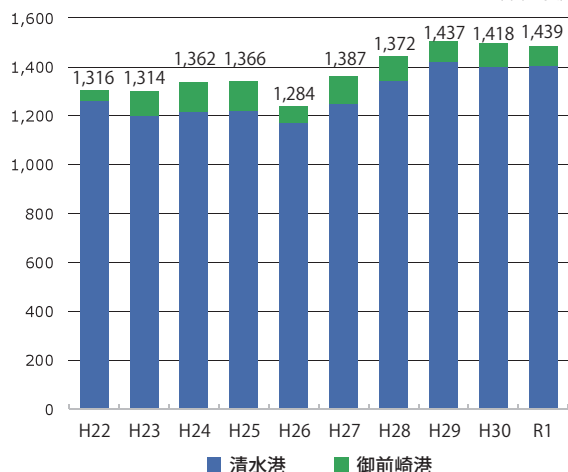
(4) 令和元年 コンテナ取扱個数順位 (港湾別、速報値)

(単位:千TEU)※2



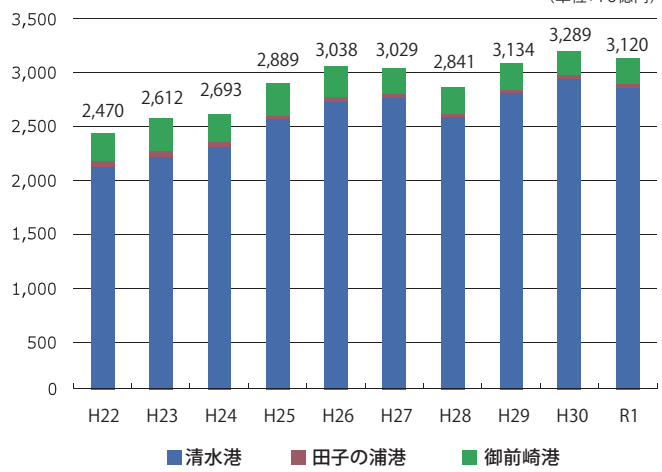
(5) 外貿コンテナ船隻数

(単位:隻)



(6) 貿易額 (外貿計)

(単位:10億円)



※1 フレート・トン…重量(kg)、容積(m³)のうち大きいものを採用する。
重量1,000kgまたは容積1.113m³をもって1トンとする。

※2 TEU…20ft.(コンテナの長さ)換算のコンテナ取扱個数の単位である。
20ft.コンテナ1個を1TEU、40ft.コンテナ1個を2TEUとする。



所在地：静岡市

清水港は、霊峰富士を仰ぎ、三保半島に包まれた静穏な水域を有する日本屈指の良港です。

本港は、背後圏に自動車、自動二輪車、楽器などの輸出関連企業や、先端技術企業が集積するとともに、東名・新東名高速道路など高規格幹線道路網が拡充されることで、「ものづくり県・静岡」の産業や経済を支える海の玄関口として発展を遂げてまいりました。取扱貨物は県内産業を反映し、自動車部品、産業機械、二輪自動車等の輸出、LNG、紙・パルプ、化学薬品等の輸入が多く、令和元年の取扱実績は、外貿999万トン、内貿688万トン、合計1686万トン、コンテナ取扱個数は外貿47万TEU、内貿9万TEU、合計56万TEUとなっています。

新興津地区では、水深15m、延長700m、連続2バースの耐震強化岸壁、6基のコンテナクレーンを備えた国際海上コンテナ

ターミナルを運営し、欧州、北米基幹航路を始め、東南アジア・中国航路などとの海外ネットワークを形成するとともに、物流総合システム（清水港VAN）による手続きの効率化や24時間体制のコンテナ荷役など、高い利便性を実現しています。さらに、平成30年に農水産物輸出促進計画が国土交通省に認定されたことに付随して冷凍・冷蔵コンテナの電源供給設備が増設されるなど、農水産物の輸出处体制の強化に取り組んでいます。

また袖師地区では、RORO船定期航路として、週5便の常陸那珂ー清水ー大分航路、週2便の苫小牧ー仙台ー東京ー清水ー大阪航路が就航しており、内航コンテナ定期航路とともに充実した国内海上輸送網が形成されています。

こうした物流機能の整備に加え、本港では、官民連携による客船誘致活動や富士山の眺望と港の風景が調和した景観を形成する

“清水港みなと色彩計画”を推進するとともに、国土交通省による「みなとオアシス“まぐろのまち清水”」の登録、「国際旅客船拠点形成港湾」及び「釣り文化振興モデル港」の指定を契機として、港を核とした地域活性化を推進しています。現在、江尻地区フェリーターミナル、日の出地区クルーズターミナル及び新興津地区小型船だまり・人工海浜・海づり公園など、各地区において交流拠点の整備を進めています。

■ 新興津なぎさ再生イメージパース



■ まぐろまつり



■ 寄港した客船の歓迎イベント



また南海トラフ巨大地震や津波・高潮等のあらゆる災害に備え、『みなと機能継続計画』（BCP）の拡充を図るとともに、港湾施設の耐震強化や防潮堤整備を引き続き推進していきます。

今後は、中部横断自動車道の開通を契機として、山梨・長野県との物流・交流を促進するとともに、2021年3月に改訂した『清水港港湾計画』に基づき、次世代を見据えた港湾整備を推進していきます。

■ 23列対応ガントリークレーン

(清水港みなと色彩計画のシンボルカラーで塗装)



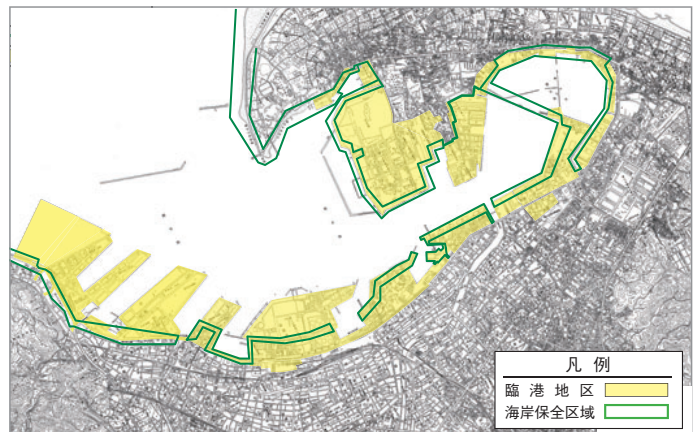
しみずきんちゃん
(清水港マスコット)



シズラ

(静岡市清水区広報キャラクター)

■ 駿河湾フェリー

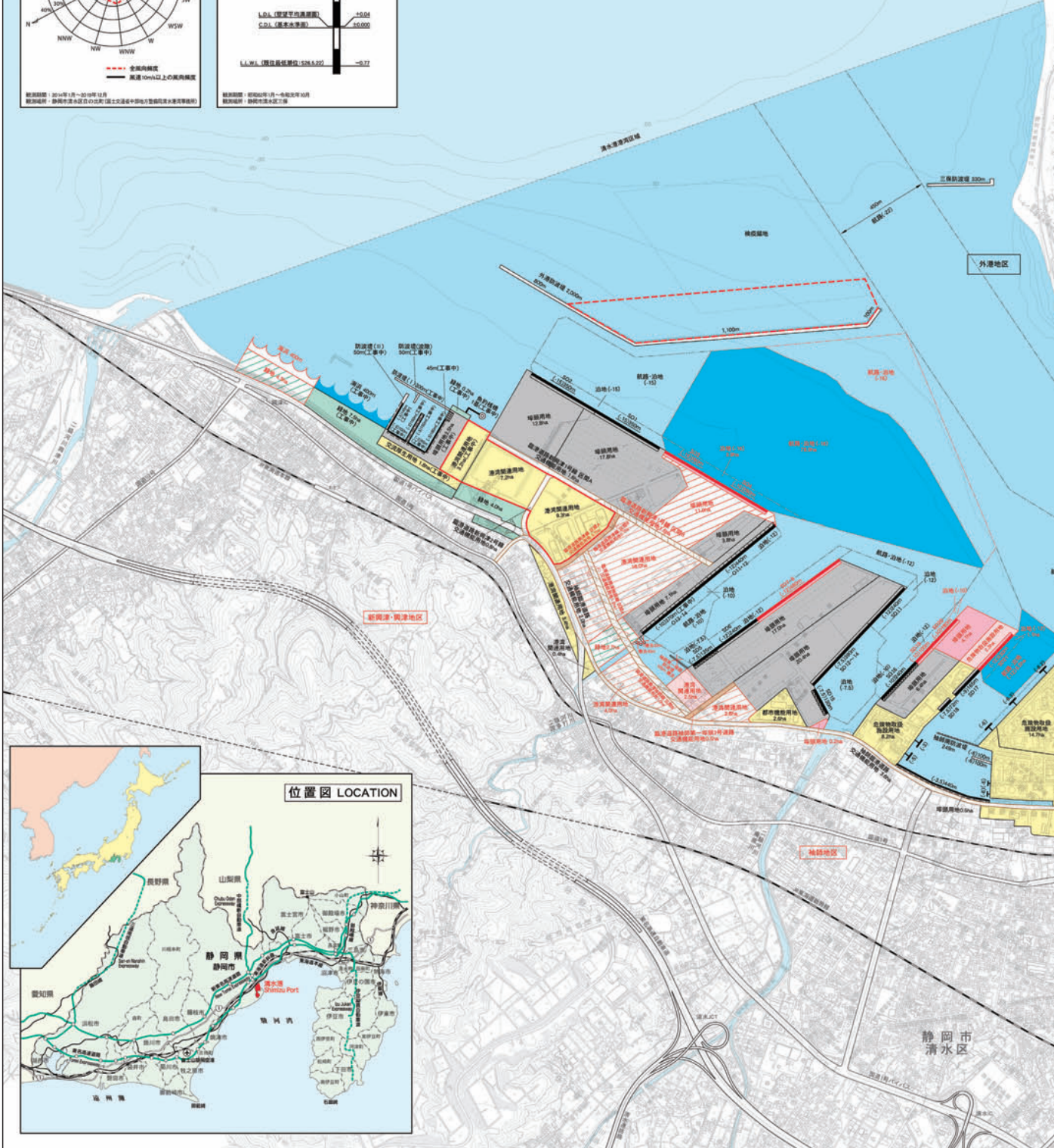
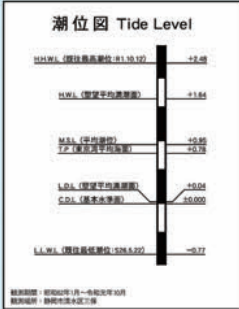
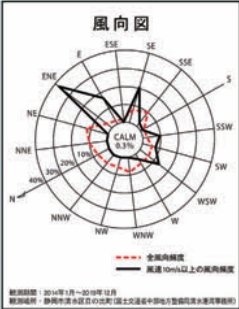


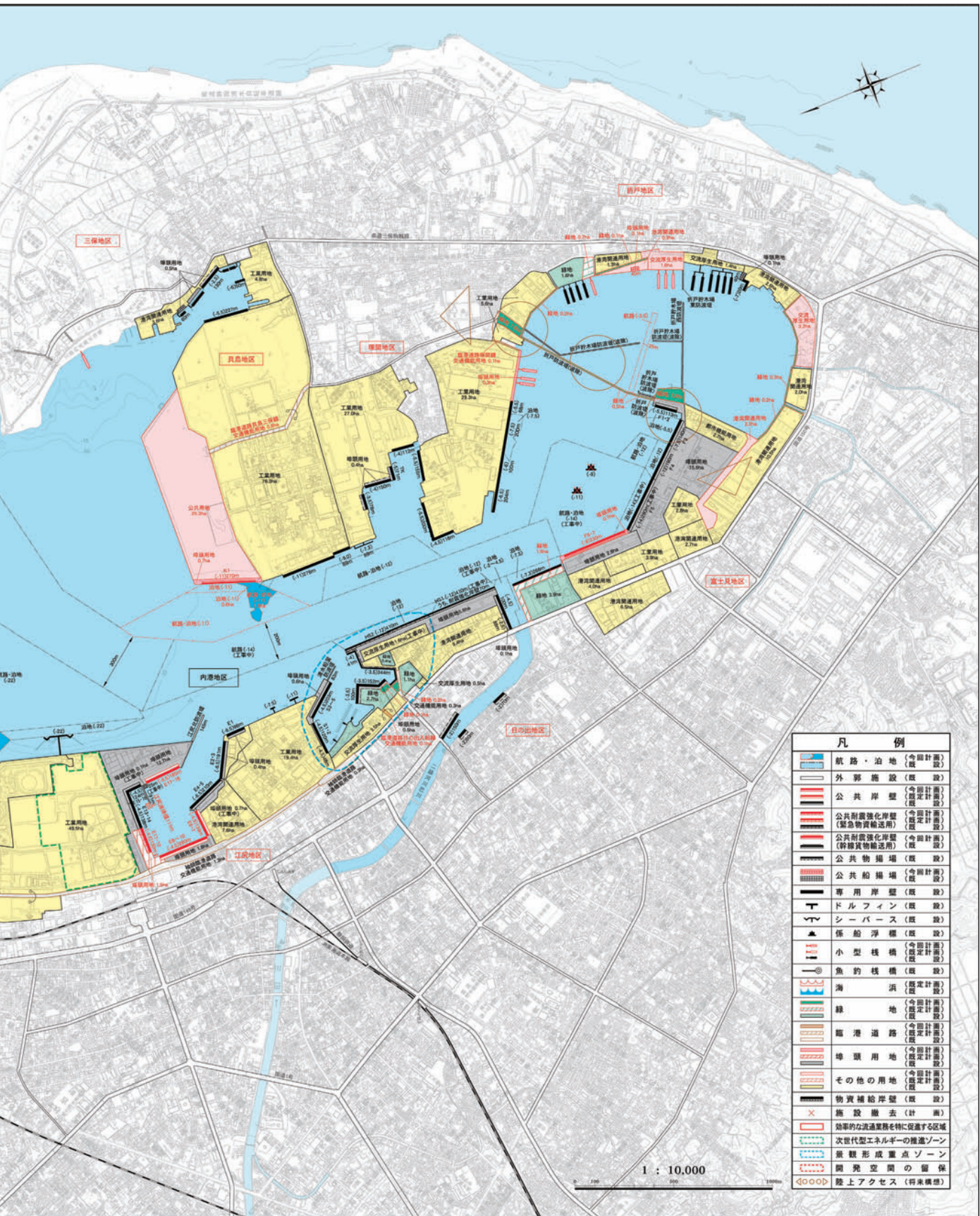
海岸保全区域延長：22,571m (重複所管を含む)

■ 清水港の規模とけい留能力

港湾区域面積	1,253ha	臨港地区面積	509ha		
公共岸壁けい留施設					
-15.0m	~-12.0m	~-9.0m	~-7.5m	~-4.5m	-4.5m未満
2バース	11バース	14バース	10バース	34バース	4,600m
専用、その他けい留施設		34バース	-4.5m未満：1,451m		

清水港港湾計画図





凡例

	航路・泊地 (今期計画)
	外郭施設 (既設)
	公共岸壁 (今期計画)
	公共耐震強化岸壁 (緊急物資輸送用) (既設)
	公共耐震強化岸壁 (幹線貨物輸送用) (今期計画)
	公共物揚場 (既設)
	公共物揚場 (今期計画)
	専用岸壁 (既設)
	ドルフィン (既設)
	シーバース (既設)
	係船浮標 (既設)
	小型棧橋 (既設計画)
	魚釣棧橋 (既設)
	湖浜 (既設計画)
	緑地 (今期計画)
	臨港道路 (既設)
	埠頭用地 (今期計画)
	その他の用地 (今期計画)
	物資補給岸壁 (既設)
	施設撤去 (計画)
	効率的な流通業務を特に促進する区域
	次世代型エネルギーの推進ゾーン
	景観形成重点ゾーン
	開発空間の留保
	陸上アクセス (将来構想)

1 : 10,000